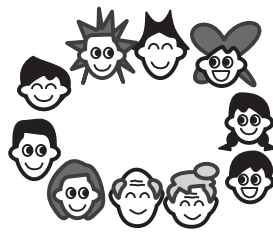


津谷歯科医院 口腔ケア新聞

NPO法人
訪問歯科診療
を広める会
賛助会員



令和2年10月号
発行人:津谷歯科医院
院長:津谷良
住所:岡山市中区海吉1807-14
紙面に関するお問い合わせは下記まで
電話: 0120-779-418
配信代行:訪問歯科診療を広める会

皆さん、こんにちは！ いかがお過ごしですか？

津谷歯科医院、院長の津谷良です。

新型コロナに関する最新情報が、日本感染症学会のHPで確認できます。現在、様々な治療薬の治験が進行中ですが、第1波と第2派で死亡率に大きな差はないようなので、おのずとワクチンに期待が膨らむところ。8/25現在、最終の臨床試験に入っているワクチンは31種類、その前段階のものが142種類あり秋にはワクチン接種の指針が決まります。最短なら年初から医療従事者や要介護者等から優先的に接種を受けられそうです。6月下旬からの第2波は、会食やカラオケ等での飛沫感染が起因となり家庭や職場内へ感染が拡がりましたので、飛沫感染防止にさらなる注意が必要です。今月は、「歯科医院での感染リスクはとて低い」についてお届けします。



■ 歯科医療従事者の感染率

今年の4月、歯科医師の田尾耕太郎先生が歯科医療従事者の新型コロナ感染状況についてレポートを発表しました。これによると4/17時点で日本人の新型コロナ感染率は0.0068%、歯科医療従事者の感染率は0.0029%でした。この感染率は、右表の香川県と同じくらい低い数値です。また8/31現在、歯科治療による歯科医療従事者と患者様間でのクラスターは1件も発生していません。歯科医師やスタッフの感染報告はありますが、報道発表を見る限り患者様から感染したものではありません。なぜ歯科治療では感染しないのでしょうか？

4/17時点の感染率の低い順		
1位	岩手県	0%
2位	徳島県	0.0004%
3位	鳥取県	0.0005%
4位	秋田県	0.0016%
5位	青森県	0.0017%
6位	香川県	0.0025%
7位	山形県	0.0053%

■ そもそも受診しない

歯科治療では必ず口を開けていなければなりません。そのため医科の病院や診療所とは反対に、咳や喉に症状のある患者様は歯科治療を受けるのが難しいため、ほとんど歯科には来院しないことがあげられます。

■ 歯科医療従事者⇔患者様 感染しない理由

7月に千葉県の新型コロナ患者を受け入れている総合病院の歯科医師が感染しました。感染後、2日間診療しましたが、患者様等の濃厚接触者61名は、14日間の観察期間も含め全員が陰性でした。歯科では日常的に唾液や血液に接触するので感染症から身を守るために、手洗い、手指消毒、マスク、手袋の着用や機器の消毒等が当たり前なこととなっていて、この基本対策をしっかりとできていることが感染しない大きな理由と考えられます。実は感染者数が世界一多い米国でも、歯科医院での治療による感染は発生してはいけないと米国疾病予防管理センター(CDC)が報告しています。万が一、歯科医療従事者又は患者様のどちらかが新型コロナに感染していても、基本対策に加えて換気等を定期的に行えば歯科治療を通して歯科医療従事者と患者様との間で感染する確率は低いと考えていいかと思うます。むしろ口の中が不衛生だと誤嚥性肺炎や細菌性肺炎のリスクが高くなり、ウイルス性肺炎も重症化しやすいことが知られていますので、計画的な口腔維持管理(口腔ケア等)は、ぜひ継続してください。

◆ 会食やカラオケの際は、飛沫感染に注意して上手に楽しみましょう ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって 

ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」って話をしていたのに…。そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

診療時間 9:00~12:30/14:00~18:30
(土曜日は16:30まで)

診療科目 歯科 小児歯科

休診日 木曜・日曜・祝祭日

院長 津谷 良

岡山市中区海吉1807-14

☎ 0120-779-418 FAX 0120-779-413